

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月3日

【評価実施概要】

事業所番号	272701004		
法人名	有限会社 リブライズ		
事業所名	グループホームかっこの森		
所在地 (電話番号)	〒0039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西二丁目9番地988 (電話) 0178-88-2595		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 12月 11日	評価確定日	平成 21年 2月 3日

【情報提供票より】(平成20年11月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 9月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	19,500 ~ 冬期22,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(11月18日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	7 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	65 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美保野病院、みうらクリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>アパートや下宿の多い閑静な住宅街の中にあり、近くにコンビニや地域交流センター・畑もあり、散歩し易い環境にある。グループホームの玄関は家庭的で入り易く、廊下や食堂も明るく過ごし易く工夫されており、季節を取り入れた装飾も施されている。部屋の入り口にはスロープを設置する等し、利用者の状態に応じて部屋を選択している。集いの場で過ごす方が多く、利用者の笑顔や職員の穏やかな接し方から常に尊厳のある生活を意識していることが感じられる。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>市町村との連携に関しては、町担当者との連絡を密にとるようにしており、地域包括支援センターとの連携も図られている。重度化に対する方針も確立され、利用者・家族に説明している。その人らしい暮らしへの支援は、不十分という自己評価が活かされ、職員個々が意識的に利用者に合わせてケアへの取り組みをしている。栄養摂取や水分確保の支援に関しては、専門知識の習得に心がけ毎日摂取量の確認もしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員全員で自己評価に取り組み、改善事項に関してできることから取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業計画・外部評価の報告・年間行事の説明をし、ご意見を受け入れながら話し合いをしている。また、防災訓練等地域からの協力依頼もしている。グループホームと住宅型有料老人ホームの違い等についても説明し、理解してもらっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見箱を設置し、苦情受付者も明記している。管理者は家族面会時にご意見を聞く機会を設け、不安に感じていること等に早期に対応できるよう配慮している。ご意見に関しては、管理者・職員で話し合い今後のケアに反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣を散歩する時に挨拶を交わしたり、地域ボランティアの方の子連れ訪問でお茶会をする等交流が図られている。交流センターで開催される敬老会や盆踊り等地域の行事にも参加され、草取りや清掃活動にも参加している。また、職員は認知症キャラバンメイトとして認知症普及活動に協力している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者のそれまでの生活と地域との関わりを大切に、「入居者ひとりひとりの尊厳を大切にします」という理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時のオリエンテーションや定期会議の中で確認している。職員は、毎日理念を確認してから業務を開始している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時に近所の方と挨拶したり、地域ボランティアの方の訪問(子連れ)があったり、野菜の差し入れもある等、地域との交流が図られている。 地域の盆踊りや敬老会等のイベントへの参加のほか、草取りや清掃活動にも参加している。また、認知症キャラバンメイトとして役場主催の介護者教室に参加して、認知症普及活動を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、職員の意見を聞きながら自己評価をし、掲示している。改善事項を前向きに捉えながら改善できる事から取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の状況、活動内容、地域イベントへの参加等を運営推進会議で話し合っている。 町内会・婦人会等への参加依頼はしているが、出席数は少なく会議開催回数も少ない。</p>		<p>今後、開催時間帯の工夫などで地域の方や家族の参加が増えるよう期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町役場担当者と連携してサービスの質向上に取り組んでいる。また、地域包括支援センターとの連携もとれている。 入・退居者がある場合にもその都度連絡している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し、伝達研修を行っている。現在利用している方はいないが、対象となる方があればすぐ支援できるよう理解を深めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について研修等で学び、虐待が見過ごされないよう職員間で声かけして互いに注意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書に記載しており、入居前に訪問して十分な説明を行っている。入居後も家族に再度説明して納得してもらっている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の状況や金銭管理状況を報告している。遠方の方には手紙や電話で報告している。他に年2回活動状況がわかる広報誌を発行している。受診後には家族に状態報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、苦情受付者も明記している。管理者は、面会時に意見を聞く機会を設け、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>グループ内での職員の異動は少ないが、已むを得ない理由での離職はある。新職員が慣れるまで一緒に業務を行い、利用者に配慮しながら引継ぎを行っている。利用者や家族にわかるよう職員の写真や名前を掲示し、担当者の記載もしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループ内研修は年間計画を立てて実施している。外部研修にも参加し定期的に伝達研修も行っている。また、2ヶ月に一度会議にて部会を開催し、専門的な知識習得に励んでいる。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域グループホーム協会に加入し、研修会にも参加している。また、他グループホームのイベントに協力し、互いに訪問し合いサービスの質向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>1対1で寄り添う介護に心がけ、言葉かけも本人に合わせている。徐々に馴染めるよう家族と相談しながら状態を観察してケアを提供している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑作業や魚のさばき方、荷運びの工夫等を教えてもらいながら一緒に行い、作業を楽しんでいる。利用者を人生の先輩として敬い、若かりし日の話を聞きながら様々なことを学んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや希望、今までの生活状況の把握に努めている。意思表示の困難な方には家族から情報を得て、本人の表情や反応から思いを汲み取るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的に担当者がアセスメントし、利用者・家族の要望を聴き取り、介護計画書を作成している。アセスメント方式に関しては、もっとわかりやすいものをと検討中である。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しを行い作成している。状態に変化がある場合には、早期に会議をもち新たな計画書を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者・家族の要望に応じて、買い物やドライブ等の支援をしている。また、突発的な要望にもユニット間で協力して支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望を大切に、かかりつけ医を受診できるよう支援している。緊急時には協力病院等の受診ができるよう体制を整えている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の事を入居時に利用者や家族に確認し、できる事できない事の説明もしている。医療面での連携がとれる体制にはあるが、ケア困難になると他施設への紹介等も行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない介助に心がけ、言葉かけにも配慮されている。個人情報の取り扱いにも十分配慮されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望を伺い、本人のペースに合わせたケアを実施している。その人らしい暮らしができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居時に好みを聞き、定期的に嗜好調査も行い職員間で把握している。献立は食べたい物を聞き、栄養士がたてている。漬物作りや食器洗い、テーブル拭き等をお願いし、食事を一緒に楽しむことができるように支援している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>体調や希望を伺い、時間帯を変更したり、翌日にしたりと利用者に合わせている。また、足浴や清拭も必要に応じて行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>得意な事を続けられるよう支援している。漬物作りや魚の調理方法、畑作業等を一緒に行ったり、職員に教える事で役割を見出している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物・ドライブ等利用者の希望に沿って外出できるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一人ひとりが身体拘束をしないという姿勢でケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は利用者の安全面に配慮して鍵をかけないケアに取り組んでいる。無断外出予防にセンサーを設置して見守っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災(避難)訓練を実施し、消火器具の点検も行っている。地域住民への災害時の協力依頼もしており、今後は訓練参加への呼びかけもする予定である。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの能力に合わせた形状で食事提供し、食事・水分摂取量をチェックしている。栄養士に相談しながら少ない方にはおやつ等で補い、更に補食が必要な場合は主治医に相談している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	管理者はグループホーム協会の会議や外部研修で感染症について学び、職員へ指導している。また、手洗いうがい・消毒を習慣化して予防に努めている。		日常的に予防に心がけているが感染症マニュアルがない為、今後の作成や必要に応じての見直しへの取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ほど良い採光で温湿度にも配慮されている。また、臭いに対しても消臭剤を目立たない場所に置く等配慮されている。</p> <p>季節感を先取りできるよう装飾をし、心地良く過ごせるよう工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>好みの物を置いたり、好きな作業に合わせて必要な物品を本人に合わせて配置し、居心地の良い環境作りに努めている。</p>		

 は、重点項目。